

● 今が見ごろの二千年ハス ～荒神谷史跡公園～

出雲平野が広がる出雲市斐川町にある荒神谷遺跡（こうじんだにいせき）は、弥生時代の銅剣・銅鐸・銅矛が数多く出土した遺跡で、隣接地には荒神谷博物館があり、発掘当時の映像やクイズコーナー、展示など、荒神谷や古代出雲の魅力を体感する事ができます。

遺跡を中心とする広大な敷地の荒神谷史跡公園では、春には田植え、秋には稲刈りの体験ができ、初夏にはハス池におよそ5万本もの「二千年ハス（大賀ハス）」が咲き誇り、緑色とピンク色の美しいコントラストに魅了されます。また、見頃を迎える6月中旬～7月下旬は、ハス池の辺り一面が、やさしく甘い香りに包まれて、心地よい気分になりながらハスを鑑賞することができます。



これからが見ごろのピンク色のハス

「二千年ハス」は、昭和26年に発見された推定二千年前のハスの種子を開花させた古代ハス。

悠久の時を経て今もなお変わらない美しさを魅せており、まさに古代ロマンを感じさせる神秘的な花です。是非、皆さんも訪れてください。

このような、私たちの美しいふるさと山陰の自然を守るように、日々環境活動に力を入れてゆきたいと思えます。



緑に囲まれ広大な敷地の荒神谷史跡公園

この時期に行なわれる「荒神谷ハスマつり」は、今年も朝早くから地元や県内外から訪れた多くの鑑賞客で賑わいます。

中には毎年必ず訪れるというご年配夫婦や、本格的なカメラを構えて撮影している方も見受けられます。

ハスの花は短命で、早朝から昼頃にかけて開きはじめる午後には閉じ3～4日で散ってしまうため、鑑賞するなら午前中がより綺麗に見ることができるでしょう。

